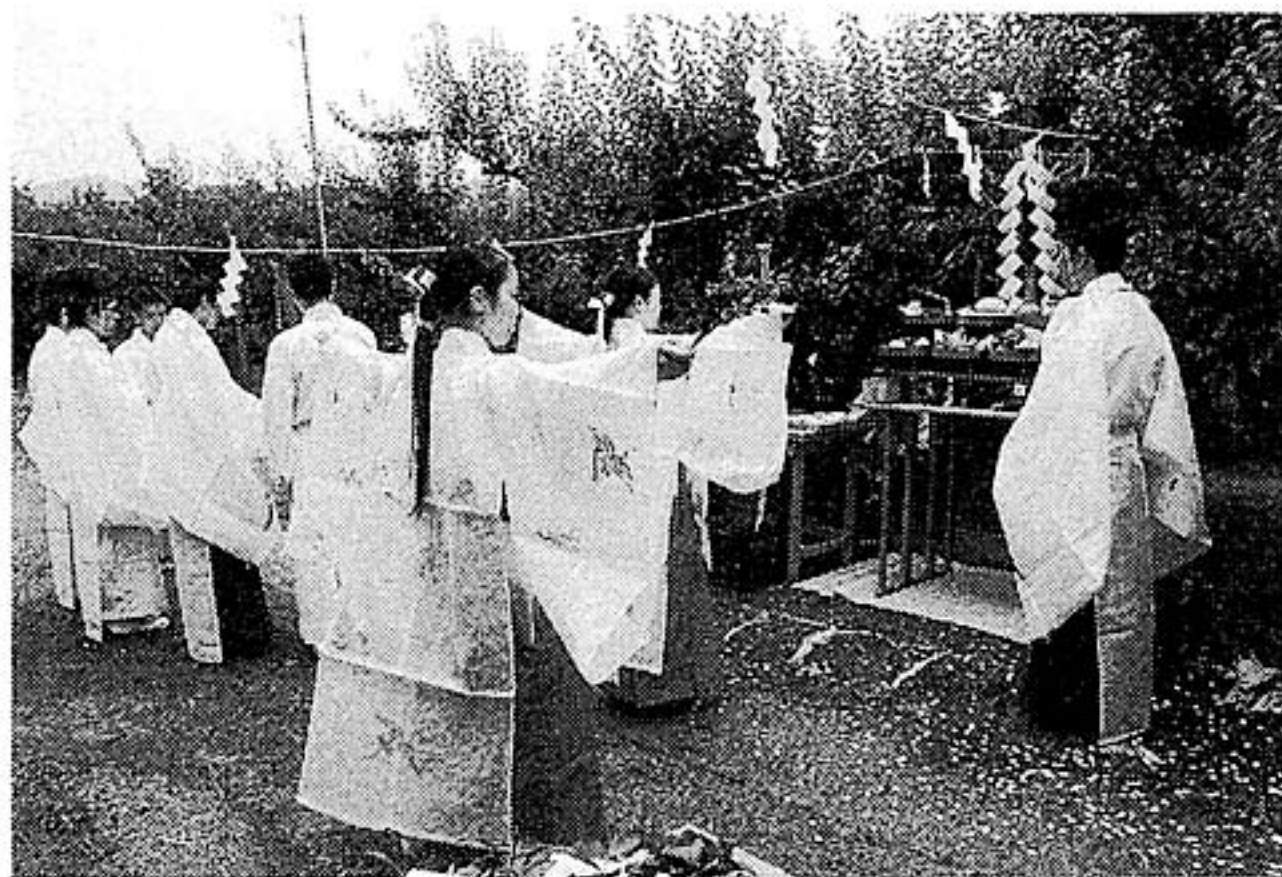


# 収穫に感謝の黄梅祭営む

## 東農園 大阪天満宮の御神園で

みなべ町東本庄



御神園で神楽を舞う大阪天満宮の巫女

(みなべ町東本庄で)

みなべ町東本庄、東農園の梅畑の一角にある大阪天満宮（大阪市北区）の御神園でこのほど、収穫に感謝する黄梅祭が営まれた。今年で6年目。

天満宮から寺井種伯宮司や巫女（みこ）ら約30人が訪れ、東善彦社長や社員、地元の梅農家、京都の顧客ら計約60人が参列した。

御神園で採れた梅を東善彦社長らが祭壇に奉納し、神事を営んだ。この後、巫女が神楽を舞った。東社長は「梅にかかわりのある天満宮から宮司さんたちが来られて、神事が営まれたことは光栄

であり、産地としてありがたい。産地の発展につながるよう精進したい」と話した。

同社は、30余年前に天満宮に梅の奉納を始めた。それが縁となり、26年前からボランティアで天満宮で採れた梅を梅干しに加工し、送り届けている。正月に御福梅として、また2月に1カ月間開かれる梅祭りでは参列者に配られている。



△  
祭壇に供えるサカキを受け取る東善彦社長（右）